

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|---------|-----------------|--------|---|
| 家計 動向 関連 | ◎ | － | － | － |
| (北陸) | ○ | 一般小売店〔書籍〕（従業員） | 来客数の動き | ・来客数が僅かに増えている。 |
| | ○ | 家電量販店（本部） | 単価の動き | ・大雪の影響を心配したが、エアコンや洗濯機などの大物家電が好調に推移している。全体では若干上向きである。ただし、来客数は減少している。 |
| | ○ | 乗用車販売店（経営者） | 販売量の動き | ・当月初めは降雪のせいで客の動きがなかったが、少しずつ来場者が増え始めて、販売が活気付いてきている。3か月前と比べれば、販売量が増え始めている。 |
| | ○ | 通信会社（営業担当） | 来客数の動き | ・大雪の影響で来客数が大幅に減少している。また、例年であれば学生向けの新規契約が増える時期であるが、既にスマートフォンを持っている人が増えており、例年と比べて新規契約が少ない。 |
| | ○ | 美容室（経営者） | それ以外 | ・今月の前半は大雪による交通障害や除雪の遅れがあり、売上は落ち込んだ。中旬以降は天候が回復し、新型コロナウイルスの感染者数の状況が改善する方向にあるとの報道もあり、気持ちが多少明るくなってきている。 |
| | □ | 一般小売店〔事務用品〕（店員） | お客様の様子 | ・年度末に向け官公庁案件は動きが出てきたが、民間案件は変わらず低迷したままである。 |
| | □ | スーパー（店長） | 販売量の動き | ・巣籠り需要があるようで、販売量が増えている。大容量パック商品の動きが良く、単価がアップしている。 |
| | □ | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・客単価が変わらない。 |
| | □ | コンビニ（店長） | 来客数の動き | ・売上は前年比の2割減少で推移している。売上が2割減少すると、営業利益で3割強の減少となる。個人経営であればフランチャイズの固定費は掛からず、自身の収入のみが減少し、理論上赤字にはならないが、社員を抱えている同業者や契約上家賃等が発生する加盟者は赤字になる。当社の場合は社員を多数かかえ、家賃の支払もあり、固定費が前年と同様に掛かっている。利益が3割減少となると、事業自体の継続が難しくなっている。 |
| | □ | 衣料品専門店（経営者） | お客様の様子 | ・当地では新型コロナウイルスに加え、1月の大雪の影響で大打撃を受けており、売上は大幅に悪化している。 |
| | □ | 乗用車販売店（役員） | 販売量の動き | ・引き続き受注は順調に伸びているが、半導体の不足により自動車の生産に遅れが生じており、売上に結び付いていないものがある。 |
| | □ | 自動車備品販売店（役員） | 販売量の動き | ・例年初売りの告知販促は行っていなかったが、今年は会員向けに実施している。しかし、大きな集客にはつながらず、福袋は必要とみられる商品に偏った傾向である。降雪に伴い、緊急用品の問合せは多かったが、災害のため仕方なく購入する客がほとんどである。 |
| | □ | 都市型ホテル（スタッフ） | 販売量の動き | ・Go To Travelキャンペーンの休止と緊急事態宣言の発出により、宿泊、宴会、レストランの全部門が厳しい。 |
| | □ | 通信会社（役員） | 販売量の動き | ・大雪の影響で一時的にセールス活動できない期間があったが、放送、通信共に前年同期並みの契約数を確保できている。 |
| | □ | 住宅販売会社（従業員） | 単価の動き | ・平均請負価格や契約後の追加工事価格の伸びが鈍い。 |
| | ▲ | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・感染拡大が衰えない新型コロナウイルス、Go To 商店街キャンペーンの中止、近年まれにみる豪雪で、耐えている状況である。どこまで耐えられるのか、飲食はもとより衣料品関係も全く先がみえない状況である。 |

| | | | |
|---|--------------------------|--------|--|
| ▲ | 百貨店（売場主任） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛の動きから、初売り期間の売上は前年比で40%減少、7～14日は大雪の影響で売上は前年比で55%減少と散々な前半だったが、後半は盛り返し、月全体の売上は前年比で23%減少の見込みである。 |
| ▲ | 百貨店（販売促進担当） | 販売量の動き | ・上旬は年末年始の帰省客が激減し、初売りに影響した。アパレルのクリアランスセールを中心に大きくマイナスである。連休期間中は大雪で交通が混乱し、商品によっては入荷が困難なものがあり、販売員が通勤不可能になった結果、時短営業を余儀なくされている。 |
| ▲ | 百貨店（販売担当） | 来客数の動き | ・全国の新型コロナウイルス感染者数が増加している。当県でもクラスターの発生など、毎日感染者が発生しているため、来客数が減少している。また、街の再開による周辺ビルの解体などで更に来客数が減少している。加えて中旬の大雪の影響で、営業時間の短縮や交通機関の麻痺により状況が悪化した。しかし、その後は反動からかやや改善している。緊急事態宣言は出ているものの、食品催事の開催時には多くの客が来店し、入場規制をするまでに増加している。県外に出掛けられない代わりに、食には金を使う傾向である。しかし、他への買い回りは少なく、衣料品などは苦戦している。 |
| ▲ | スーパー（店長） | お客様の様子 | ・し好品などの不要な買物を控えている様子である。 |
| ▲ | スーパー（総務担当） | お客様の様子 | ・特売商品のみで購入者が増加しているように見える。 |
| ▲ | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスによる外出自粛の影響が再度出ている。 |
| ▲ | 家電量販店（店長） | 来客数の動き | ・大雪の影響で来客数が減っている。 |
| ▲ | 乗用車販売店（従業員） | 来客数の動き | ・豪雪により、交通渋滞や除雪、出社できない従業員等、通常どおりの営業ができる状況ではない。 |
| ▲ | その他専門店〔酒〕（経営者） | 販売量の動き | ・1月は大雪のため、売上が約1週間ほど何もなかった。その分減益している。 |
| ▲ | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの影響で、新年会が全て中止になっている。感染がまだまだ収まらない状況であり、夜の街にも足を運ばなくなっている。昼間も極力外出を避けているようである。 |
| ▲ | 通信会社（店舗統括） | 来客数の動き | ・外出自粛が続いているので、来客数が減っている。 |
| ▲ | その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの第3波の影響で、身近に感染が迫ってきている感じがする。外出制限等の対象が違う業界でも、客は自分事として自粛を再開している。この雰囲気により、他の人も同様に自粛の行動をとっている。また、今月は年始の大雪の影響で短縮営業や、4～5日休業せざるを得ない日があった。 |
| ▲ | 住宅販売会社（従業員） | 来客数の動き | ・今月は、仕事始めからすぐに大雪に見舞われ、イベントを計画していたが、来場者はなかった。約1週間ふだんどおりに動けなかったので契約が進まない。 |
| ▲ | 住宅販売会社（従業員） | 来客数の動き | ・毎年、新年の住宅展示会は来場者が多いが、新型コロナウイルス禍の状況で来場者の動きは鈍いと感じている。 |
| × | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスに加えて大雪の影響まで重なった。ふだんの生活もままならず、1週間は雪かきが仕事になってしまった。客は食料品のみ購入になり、それ以外の業種の売上はさっぱりである。金を使おうという雰囲気でもなく、当然財布のひもは固い。 |
| × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・開店休業とは正にこのことである。年末から誰も歩いていない状態が続いている。売上は前年同月比の20%にも満たない。 |
| × | 一般小売店〔鮮魚〕（役員） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスと、当地では前年末から相次ぐ大雪で、人の動きが全く止まってしまっている。前年の3月か4月のようなようである。本当に閑散としている。 |

| | | | |
|---|---------------------------|--------|--|
| × | スーパー（店舗管理） | それ以外 | ・豪雪のため駐車場の確保が困難である。加えて自転車での来店も減少したため、必然的に来客数が減少している。また、新型コロナウイルス禍で内食需要の高まりに対し日配品の需給バランスが乱れ、厳しい状態が続いている。 |
| × | コンビニ（店舗管理） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス第3波が年始の繁忙日を直撃している。三が日の来客数が大幅に前年割れしている。さらに、大雪の二重苦で、中旬までの状況が壊滅的である。 |
| × | コンビニ（営業） | 来客数の動き | ・豪雪の影響が大きく、来客数が大きく減少している。 |
| × | 衣料品専門店（経営者） | それ以外 | ・新型コロナウイルス感染者の増加に加え、35年ぶりの大雪で来客数が激減している。 |
| × | 衣料品専門店（店舗運営） | 販売量の動き | ・セール商品でも慎重に品定めをし、まとめ買いをせず単品で購入する客が目立っている。 |
| × | 住関連専門店（役員） | 来客数の動き | ・大雪の影響で1月前半は休業を余儀なくされ、まともに営業できていない。営業しても客がほとんど来ない日が続いている。初売りは暦の関係で、それほど大きく盛り上がっていない。 |
| × | その他小売 [ショッピングセンター]（統括） | 販売量の動き | ・年末の東京都における新型コロナウイルス感染者数急増による外出自粛の影響や、県内で感染者数が増加し、県の判断指標の段階が上がったことによる飲食店の利用自粛や外出自粛などの呼び掛けもあり、1月は来客数が大幅に減少している。また、消費者の行動変化により、販売量も来客数とともに大幅に低下している。 |
| × | 高級レストラン（スタッフ） | 来客数の動き | ・年末にGo To Travelキャンペーンが停止し、3連休は大雪である。その後は緊急事態宣言で、飲食店は悪であるというような風潮になり、来客数が例年に対して30%ほどの状態が続いている。 |
| × | 一般レストラン（店長） | 来客数の動き | ・Go To Travelキャンペーンの一時停止により、一挙に客足が減っている。それに加え、連休時の豪雪により少ない予約もキャンセルになっている。ひどい状態である。 |
| × | 一般レストラン（統括） | 来客数の動き | ・1月7日の1都3県への緊急事態宣言後、急激に当社店舗の来客数はもちろん、他社の来客数や北陸市場の状況など、全てにおいて消費者が動いていない状況である。特に新型コロナウイルスに関しては、消費者心理が報道に左右されることが多く、首都圏の感染者数が減らない状況が続いているため、まだしばらくこの悪い状況が続くとみている。 |
| × | スナック（経営者） | 来客数の動き | ・1月18日から月末まで営業時間の短縮、若しくは休業の要請があり、夜9時までの営業となったため、当店では曜日により短縮と休業で対応している。月の前半は大雪で厳しい状態となり、悪かった前年1月の4割の売上となっている。協力金で命が繋がっている状態である。 |
| × | 観光型旅館（経営者） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言により、1月の売上は前年比の約20%まで落ち込んでいる。 |
| × | 観光型旅館（スタッフ） | それ以外 | ・12月は前年比で総売上が94%、宿泊人数が86%、宿泊単価が117%となり、ほぼ前年並みの売上を確保したが、Go To Travelキャンペーンが一時停止し、その後は緊急事態宣言の発出でキャンセルが増加している。 |
| × | 旅行代理店（支店長） | 販売量の動き | ・Go To Travelキャンペーン一時停止による予約取消しがある。 |
| × | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・当地では外出自粛と飲食店への営業時間短縮の要請などにより、夜の客の動きが非常に悪い。 |
| × | テーマパーク（役員） | 来客数の動き | ・11都府県での緊急事態宣言発出の影響と、Go To Travelキャンペーン一時停止の再延長により、前年同期比で見ると9割近く減少しており、ほとんどが休業日という状況になっている。 |
| × | 住宅販売会社（営業） | 来客数の動き | ・首都圏の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、来場者数が落ち続けている。商談の遅れも目立ってきている。 |

| | | | | |
|----------------------------|----------------|-------------------|--|---|
| 企業 動向 関連 (北陸) | ◎ | | | |
| | ○ | 精密機械器具製造業（役員） | 受注量や販売量の動き | ・12～1月の販売実績は回復状況にあり、製造の受注量は、現状のキャパシティに対して多い状態が続いている。 |
| | □ | 化学工業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・受注量が変わらずに推移している。 |
| | □ | プラスチック製品製造業（企画担当） | 受注量や販売量の動き | ・都市部を中心とした新型コロナウイルスの感染再拡大や、緊急事態宣言発出などの影響は大きく、受注、販売共に厳しい状況が続いている。 |
| | □ | 通信業（営業） | 受注量や販売量の動き | ・今年度第1四半期と比較して、8月頃から受注量が上向きになり、補助金の恩恵もあって、第2～3四半期は前年並みに推移している。そのため現在もほとんど変化がなく、順調なレベルで推移している。 |
| | □ | 不動産業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・不動産業界では、半分程度が少し良く、あとの半分はまだ動きが悪いという話である。また、個人客の動きが少し鈍いことから、変わらないとみている。 |
| | □ | 税理士（所長） | 取引先の様子 | ・以前の良いときに比べると客の売上高は平均で6～7割程度にとどまっているところが非常に多い。小売関係は厳しい状態で、観光関係は前と変わらず絶望的な数字である。製造業は受注が低迷している。設備投資では設置などのために海外渡航ができないため、機械の輸出が止まっている状態が数か月続いており、心配である。 |
| | ▲ | 食料品製造業（経営企画） | 受注量や販売量の動き | ・年が明けても家庭消費向けの市販用は引き続き好調だが、2度目の緊急事態宣言の影響か、外食向けを中心に業務用が大幅に前年割れで推移している。 |
| | ▲ | 一般機械器具製造業（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響で悪いなか、日本市場は安定した受注があるが、欧米市場は非常に厳しい状況が続いている。 |
| | ▲ | 建設業（経営者） | 競争相手の様子 | ・工事の受注がやや減少してきている。 |
| | ▲ | 司法書士 | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルス関連の助成金申請のための依頼は継続しており、依頼者から事業が困難であるとの話を聞くことが多い。 |
| | × | 輸送業（役員） | 競争相手の様子 | ・新型コロナウイルス禍に加え、一過性ではあるが豪雪による運行の妨げがある。当社は医薬品の輸送を手掛けているため、影響は少ない方かもしれないが、製造関係の輸送を手掛けている会社は、新型コロナウイルスの影響が大きいと聞く。 |
| × | 金融業（融資担当） | 取引先の様子 | ・年末年始の取引先の受注や売上は悪化している。季節需要を期待していた取引先にとって、かなりの打撃となっている。前年融資した取引先からの資金繰りや、追加融資の相談も出始めている。 | |
| 雇用 関連 (北陸) | ◎ | — | — | — |
| | ○ | — | — | — |
| | □ | 人材派遣会社（役員） | 求人数の動き | ・企業からの人材を求める動きが鈍い上に、求職者の動きも鈍くなってきている。 |
| | □ | 人材派遣会社（社員） | 求職者数の動き | ・求人案件に対する求職者数が微増だと感じる。ただし、現在の契約が終了や終了見込みであると推測すれば、現状維持、あるいは悪化しているのかもしれない。 |
| | □ | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 周辺企業の様子 | ・県内でも新型コロナウイルスの新規感染者が一定数出続けていることに加え、大雪の影響を受けて精神的にも物理的にも外出自粛の傾向に拍車がかかった。自社も含めて、多くの企業で物流や業務に一定程度支障が出たものとみている。 |
| | □ | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・年度当初より求人数の減少幅は若干持ち直しているものの、いまだ厳しい状況は変わらない。 |
| | □ | 民間職業紹介機関（経営者） | 求人数の動き | ・新しい求人が少ない。新型コロナウイルス禍となつてから、企業の求人は低調である。しかし、将来の人材として新入社員への採用意欲は強い。新型コロナウイルスの影響で個々に面接することが難しく、合同企業説明会等は盛況である。 |
| ▲ | 求人情報誌製作会社（編集者） | 求人数の動き | ・求人募集を出す会社が少ない。 | |

| | | | | |
|--|---|---------------|---------|---|
| | × | 新聞社〔求人広告〕（営業） | 周辺企業の様子 | ・当地は対象区域ではないが、緊急事態宣言後、企業活動や人の消費活動が委縮しているように感じると、流通や自動車販売に携わる人から聞いている。 |
|--|---|---------------|---------|---|